

# Eugeniy CHEVKENOV

エフゲニー チェヴケノヴ

1971年3月8日、ブルガリア プロヴディヴに著名な音楽一家の息子として生まれる。  
6歳でヴァイオリンレッスンを受け始め13歳でシンフォニーオーケストラのソリストに迎えられる。  
18歳で地元の”国内ヴァイオリンコンクール”、”国内室内楽コンクール”1位、以後 国際的な受賞はウィーンアルバンベルク教会、  
オーストリア文化省、C.フォン ツィーラー財団、”シュテファニー ホール”コンクール、在外ブルガリア人へ国立代理店よりの  
名誉ディプロム、ギリシャ ヴェリア金賞等に及ぶ。

彼は高名な教授にブルガリア、アメリカそしてオーストリア(ダンコヴァ、ポポヴァ、スタンコフ、クリュッサ、シヴォー、シューベルト、  
スター)にて師事しソフィアの音楽アカデミー、ウィーンの音楽大学で修士を修得。在学中にはウィーンフィルハーモニーの  
ザルツブルグ音楽祭、レコーディングや海外演奏旅行に長年にわたり参加した。

2000年には特出した音楽活動が認められオーストリア政府より名誉国籍を受ける。

2003年より彼はニューヨーク ”プレスティゲ エージェンシー”にてヴァイオリニスト及び指揮者として依頼を受ける。

彼の演奏はこれまでに33カ国(アメリカ、日本、中国、メキシコ、ヨーロッパ諸国)に及びそれは ニューヨークカーネギーホール、  
ウィーン 学友会ホール、コンチェルトハウス、メトロポリタン アートセンター東京、大阪シンフォニーホール、ベラス アルテス  
メキシコシティー等のホールに於ける。

1999年に彼はウィーン グラモラ レコード社よりA.ヴィヴァルディの”四季”を、2002年にはカルレク社よりザルツブルグにて制作ソロCD ”Recital”  
そして2005年には ”Eugenius”を出す。

1997年～2001年に彼はウィーン テレジアヌムにて青少年の為の音楽サマーアカデミーにて後進の指導にあたり2000年には ウィーン  
グスタフ マーラー コンセルヴァトリウムのヴァイオリン科教授となる。  
更に彼はアメリカ、日本、中国、メキシコ、ブルガリア、ギリシャにてマスタークラスの教授となった。  
2006年にはロシア国際 ”シューベルトコンクール”、2007年にはプロヴディヴ ”D.ペトコフコンクール”にて審査員を務める。

2002年に彼は ”アンサンブル コンチェルトアンテ ウィーン”を結成、自ら芸術監督、指揮者そしてソリストとなる。その成功は  
ヨーロッパ、アメリカ更には中国に於いては北京でのヨハン シュトラウス像の完成式典での公演にまで及ぶ。  
2006年以降このアンサンブルもニューヨーク ”プレスティゲ エージェンシー”の依頼を受ける。  
2006、2007年にはこのアンサンブルはオーストリア国民会議議長より後援を受ける。

エフゲニー チェヴケノヴは ウィーン ヨーロッパ文化協会の創設以来のメンバーで有り2008年5月からその会長を務める。